

5階東病棟のNSTサテライトは毎週木曜日の16時30分より、神経内科医師・病棟看護師・薬剤師・管理栄養士の4職種で行っています。

5階東病棟は入院診療科が多く、神経内科、脳外科、糖尿病内分泌内科、歯科口腔外科、精神神経科等多岐にわたり、様々な内容で話し合いを行います。患者の抽出方法はアルブミンでの抽出の他、病棟看護師や管理栄養士等からみて気になる患者さんを対象とし、カンファレンスを実施しています。



医師より

5階東病棟は神経内科、脳神経外科、糖尿病内科、精神科、歯科の混合病棟で入院している患者の疾患も様々です。カンファレンスで相談することが多いのは脳神経疾患で経口摂取ができない状態での経管栄養についてのことが多いですが、その他にも精神的な要因で食事摂取ができなかったりする場合などの対応を話あったりすることもあります。栄養士、薬剤師、看護師、医師一人ずつで毎週木曜日4時半から楽しくカンファレンスをしています。

管理栄養士より

5東は様々な診療科の患者さんが入院されており、経口摂取以外にも経鼻胃管や胃瘻、静脈栄養等栄養の投与方法も多岐にわたります。管理栄養士の立場として、経口摂取と他の栄養方法を併用している患者さんも多いので、様々な栄養方法を合わせて目標と比較しどのくらい入っているのか等を確認するよう意識しています。

看護師より

脳外科・神経内科チームで交代でカンファレンスに参加しています。5東では脳外科・神経内科・糖尿病内分泌内科・精神神経科・歯科口腔外科と様々な患者さんがいるので、特徴や日々の関わりを看護師が各職種に伝えています。具体的には経管栄養をしている患者さんの評価を行ったり、糖尿病の患者さんの食事について相談したり、精神科で摂食障害がある患者さんの栄養評価と食事摂取状況を確認しています。また術後で食欲不振の患者さんについては看護師から情報提供し話し合っています。経腸栄養剤を使用していると、下痢や嘔吐などのトラブルが多く、疾患や内服薬によって栄養剤の選択も異なってくるので、製剤の特徴についてスタッフへの知識の浸透をはかっていきたいと思います。

薬剤師より

現在投与されている治療薬を把握し、薬剤の相互作用や検査値への影響、副作用の発現の有無をモニタリングしながら、排便コントロールや食事摂取状況など問診で得られた情報を共有するよう心がけています。また、他のサテライトメンバーから得られた情報から投与薬剤、栄養療法の検討を行い、患者さんの栄養・全身状態の改善に貢献できるよう努めています。